

感動の出会い 素敵なステージ

アンサンブル 「アリ・ラ・ミフ」

「アリ・ラ・ミフ」はニブヒ語で「北風の国」という意味を持ちます。創立は1993年、サハリンの北にあるノグリキ村で誕生しました。ノグリキ地区は少数民族のニブヒとウイльтаが住居する地域であり、豊かな自然に恵まれています。

この団の編成は：8歳～大人までのニブヒ民族で構成されています。

レパートリー：火と水の神様にお供え物をあげる儀式や伝統的な男性の遊び、民族楽器（チャチャ・チハシュ、カンガン、カトルニ）の演奏、御伽話や神話の演劇など。

舞踊演劇も大事にされています。シャーマンの踊り、鹿の踊り、熊の踊り、野の花など。

アンサンブルの指導者と創立者であるアレクサンドル・ゴロシコは民族の伝統や習慣について豊かな知識を持っています。このアンサンブルは州とロシア全国のセベル（北方の）少数民族芸術フェスティバルの受賞者でもあります。

コサック民謡アンサンブル 「ボーリャ」(自由)

創立は1993年、ユジノサハリンスク市で誕生しました。このアンサンブルの目的は、コサック民謡の紹介、スラブ民族の伝統や習慣を継承することです。レパートリーにはロシアの全域の民謡が入っています。シベリア、ウラル、ドン、クパーニ、またウクライナなど。指導者であるリュドミラ・ザセンコはコサックの家族に育ち、音楽家の娘でもあります。

このアンサンブルは、サハリン州のみならず、その他の多くのロシア地域でも公演しています。

1995年：ウクライナ、国際フェスティバル
「チェルヴォナ・カルイナ」

2001年：ハバロフスク市、極東フェスティバル
「元気なルーシー」

2006年：キエフ市、国際ウクライナ人フォーラム

2007年：ウラジオストック市、地域間フェスティバル
「我々の考え、我々の歌」

2009年：ウクライナ、国際フェスティバル
「ソローチンスカヤ・ヤルマルカ」



人形劇場

創立は1981年です。レパートリーは子供から大人向けまで幅広く、世界文学の古典作家やロシアと外国の劇作家の演劇や民族の御伽話などからなっています。人形劇場の公演は、サハリン州のみならず、その他の地域やモスクワでも行われています。

国際フェスティバルでの参加は次の通りです。

2004年：モスクワ

「ムィチシにて紅茶を飲む会」

2005年：リトアニア「ラガミナス7」

2007年：リトアニア「ラガミナス8」

2008年：「ムラヴィニック」

2009年：トルコ「エスキセヒラ」



北海道公演会場

10月3日(土) 名寄公演 18:00
名寄市民会館ホール／名寄市大通北1丁目

10月4日(日) 倶知安公演 16:00
倶知安町文化福祉センター／倶知安町南3条東4丁目

10月6日(火) 小樽公演 18:30
小樽市民センターマリナーホール／小樽市色内2丁目

10月7日(水) 江別公演 18:30
江別市コミュニティセンター／江別市3条5丁目

札幌会場

